



発達障害とは

学習障害（LD）

学習障害とは、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すものである。

学習障害は、その原因として、中枢神経系に何らかの機能障害があると推定されるが、視覚障害、聴覚障害、知的障害、情緒障害などの障害や、環境的な要因が直接の原因となるものではない。

「学習障害児に対する指導について（報告）」（平成11年7月 学習障害及びこれに類似する学習上の困難を有する児童生徒の指導方法に関する調査研究協力者会議）より

聞こえているが指示が伝わっていない（聞く）、順序よく話すことが難しい（話す）、形の似た文字を読み間違えたり、文字や行をとばしたりすることが多い（読む）、鏡文字になったり、文字の形がくずれたりする（書く）、繰り上がりや繰り下りの計算でつまずきが多い（計算する）、計算はできるが、図形や文章題では混乱する（推論する）といったように特定の能力に著しい困難さが見られます。

ADHD

ADHDとは、年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、及び／又は衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすものである。

また、7歳以前に現れ、その状態が継続し、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定される。

「今後の特別支援教育の在り方について（最終報告）」（平成15年3月 特別支援教育の在り方に関する調査研究協力者会議）より

課題や遊びの活動で注意を集中し続けることが難しい、手足をそわそわ動かしたり着席していてももじもじしたりする、質問が終わらないうちに出し抜けに答えてしまう、といった行動が見られ、自分をコントロールすることが困難な場合がしばしばあります。

